

愛媛DMO通信 Vol.33 2024.2.1

台湾訪日教育旅行関連 連携協定を締結！

台湾教育旅行の誘致に、四国4県で連携して四国ブロック広域観光振興事業推進協議会として取り組んでいるところですが、12月13日に台湾にて、台湾高等学校以下国際教育交流連盟と包括連携協定を締結しました。今後、教育旅行を通じて四国と台湾の相互交流のさらなる活性化を目指します。また、過去に四国を訪問いただいた台湾各地の学校12校を訪問し、四国の魅力をPRしました。多くの学校から「来年は四国を選びたい」との声を頂きました。



バンコクで四国の観光PR活動を実施

バンコクで1月25～28日までタイ・インターナショナル・トラベル・フェアが開催され、JR四国、四ツ一創、四国4県で共同出展し四国の観光をPRしました。会場は多くの人出でタイの人々の日本に対する注目度の高さを感じました。

タイは、令和5年度上半期におけるアジア圏からの観光目的での入国者数が、韓国、台湾、香港に次ぐ4番目となっており、愛媛DMOでは、タイを含む東南アジアもターゲットとして、今後も継続してプロモーション活動を実施していきます。



当協会初!!香港で商談会を開催

コロナ過前の2019年、香港から愛媛県への旅行客数は台湾に続いて2番目に多い1万9,233人でした。コロナ後も順調に訪日客数が回復しており、香港人旅行者は日本好きの方が非常に多く、10回以上訪日経験のある高頻度リピーターが全体の3割を超える等、当県にとって非常に重要な市場の一つです。

そこで、香港インバウンド市場の更なる底上げ、そして香港旅行会社との結び付きと愛媛県への関心の強化を図ることを目的に、1月16日香港市内で、当協会初主催となる「愛媛県観光商談会」を開催しました。

商談会には現地旅行会社9社15名と、県内事業者6社9名に参加いただき、第一部では当協会よりスライドを使って愛媛県の最新観光トピックを紹介、第二部では各社1対1での商談を行いました。各旅行会社とも、愛媛への関心が高く、それぞれのブースで多くの質問が飛び交いました。当協会からは着地型旅行商品を紹介し、多くの担当者に興味を持っていただけました。

また15日には市内の旅行会社5社への営業訪問も行いました。今後も現地担当者との連絡を取り合い、旅行商品を活用していただけるようセールスを継続していきます。



愛媛県周遊商品ファミトリップ

7月に東京都内で開催した愛媛観光プロモーション&商談会(当協会主催)に参加いただいた旅行会社を対象に、旅行会社での商品化を目的としたファミトリップを実施しました。

今回は参加者の要望に沿って個別に組み立てる方式で12月に(株)JTBG「グローバルマーケティング&トラベル」よりフランス市場の担当者を招聘し、しまなみ・西条・宇和島・大洲エリア等、フランス人目線で各種コンテンツを視察いただきました。

次回は2月に(株)ジャルパックの担当者を招聘予定です。



第3回観光人材養成講座(実務研修会)

第3回の講座は、東・中・南予の観光コンテンツ事業者間の相互交流を通じ、自身が関わる事業のブラッシュアップや、他の地域との連携による広域周遊プラン作成などのきっかけ作りに役立てていただくことを目的に実務研修として実施しています。

南予では1月30～31日に実施(5団体5名参加)し、マーマレード作りや田力本願ストーリー体験等を通じて、地元事業者と交流を深めていただきました。2月には東予で柑橘コスメづくりやイノシシBBQを体験し事業者同士の連携強化を図ります。



国内営業活動報告(12～1月分)

国内における個人・団体旅行の需要も急激に回復しており、愛媛県への誘客や消費拡大に貢献するべく、当該期月も国内旅行会社に対して積極的な営業活動を行いました。

まず、12月12～14日にかけて中国地域(山口・広島・岡山)への営業活動を実施しました。また、13日に開催された阪急交通社国内推進協力会(商談会)へも参加しました。

翌週19日には高知、21～22日に徳島・香川へ営業訪問を、さらに、1月25～26日には福岡・大分の旅行会社へ営業を行いました。各担当者からは「道後温泉本館全館営業再開」、「しまなみ海道開通25周年」に合わせ、ツアーを造成したいとの相談が複数あり、愛媛県への関心の高さを実感しました。引き続き、積極的な営業活動を行っていきます。

「愛媛本2024」販売中！

新しい愛媛県公式観光レジャーガイド『愛媛本』が12月に発行されました。2024年版は、県内のおすすめスポットが昨年よりも約200スポット多く掲載され、内容がさらにパワーアップしています！

巻頭特集では、今行きたい愛媛の旅プランとして、アクティビティに絶景、工場見学、ゆったり散歩など、東中南予それぞれの特色ある資源を活かした楽しみ方をご紹介します。愛媛の民藝品も取り上げています。

その他にも、グルメや宿泊、特産品等の最新情報が詰まっていますので、是非書店等でご購入ください。



「いよ観ネット」Instagram check!→



「ディーブなえひめ」絶賛公開中！ Click!→



E-bikeとサイクルバス第2回全体会議

E-Bikeとサイクルバスを活用した南予周遊事業（観光庁補助事業）の第2回全体会議を12月7日に八幡浜市で開催しました。

昨年7月に行った第1回の全体会議(キックオフミーティング)以降、現在に至るまでの取組みについて、各事業者からの報告(サイクリングガイド研修、モニターツアー結果等)と今後のスケジュール等を確認後、意見交換を行いました。商品化に向けた課題やコンテンツの磨き上げ、南予周遊等について話し合い、来年度に向けて新しい一歩となる会議となりました。



異文化コミュニケーション研修開催

日本航空松山支店からの委託（観光庁補助事業）により、本格的に回復してきた訪日外国人の受け入れ準備を目的に、松山・大洲・西条市で「異文化コミュニケーション研修」を12月と1月に全4回開催（81名参加）しました。

経験豊富な日本航空の現役客室乗務員から、機内での成功・失敗事例を交えながら、おもてなしの基礎をはじめ、相手の気持ちを察したり関心を持つことの重要性や国籍・文化・価値観等の異なるお客様の要望を理解・尊重するために必要なことを講演いただきました。



サステナブルツーリズム関連研修開催

愛媛県等主催の標記研修が当協会も協力団体として開催されました。

第一部は12月に「JSTS-DeSign」、第二部は1月に「Leave No Trace トレーニング研修(四国初)」を実施し、インバウンドに選ばれるためのテーマとして注目される「サステナブルツーリズム」について、地域事業者・ガイド・観光協会等延べ約80名の方々に理解を深めていただきました。



松山大学との連携による市民公開講座 ふるさとふれあい塾（第8回、第14回）

第8回（12月8日開催）では、四国ツアーズ(株)取締役会長 中野隆氏に、アドベンチャートラベル(AT)と四国ATの可能性について講演いただき、講義時間では収まらない程の活発な質疑応答も行われました。

また、第14回（最終回、1月19日開催）では、(株)エス・ピー・シー 編集長 松下亮介氏に、喫茶ツーリズムという地域文化・歴史・味・風土が凝縮された観光について講演をいただき、講演後には学生が質問に駆け寄るなど、両氏とも新鮮かつ興味深い講義となりました。



愛媛の地酒の香りを「見える化」！

当協会では、(株)レボーンと協力しECサイト「[愛ある愛媛 いいよかん](#)」上で取り扱っている愛媛県の日本酒の香りを「見える化」する取組みを12月から開始しました。

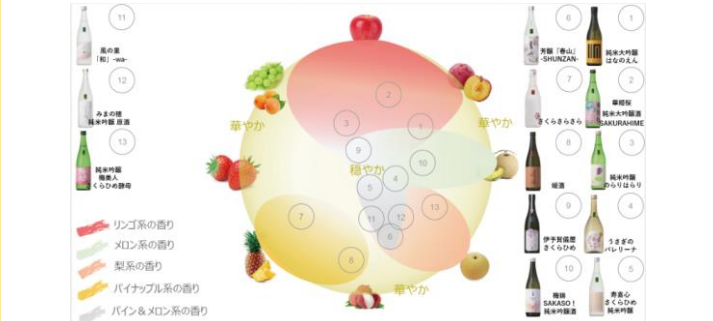
従来、日本酒を表現する指標は、甘口/辛口、淡麗/濃醇...等が主流で、これらは味を表現しており、香り豊かな日本酒の特徴を表現した商品はなかなかありませんでした。

一方、人が感じる美味しさは8割が香り由来であると言われており、香りで日本酒を選ぶ事が出来れば、それぞれの好みに合わせた、本当に「美味しい」日本酒と出会えるかもしれない、という着眼点から、この取組みは始まりました。

香りを「見える化」する「日本酒アロマチャート」は、お酒から立ち昇る日本酒香の特徴を、身近な果物などの香気に分類して表示したものです。

「愛ある愛媛 いいよかん」上では、香りの強度をもとに、日本酒銘柄を主な香りに分類してマッピングしています。

是非、このアロマチャートを参考に、好みの香りから愛媛県の日本酒を選んでみてください。



宇和島水産高校生考案の缶詰販売開始！

宇和島水産高校生が、料理研究家や水産加工会社と協力して作り上げた缶詰「鯛がキューピッド」(パエリア及びアクアパッツァ)の販売報告会を、12月11日に愛媛県庁で実施し、当協会の店舗・ECサイト・県外催事でも、12月から取り扱いを開始しました。

当該商品は、高校生たちがSDGsの推進のため、本来であれば廃棄される鯛のあらや中骨等を利用することを考案・開発したもので、生産量日本一を誇る愛媛の鯛の美味しさがギュギュッと凝縮されています。

アクアパッツァは温めるだけ、パエリアは炊飯器でご飯と炊くだけと非常にお手軽に食べられるうえに、想像以上に本格的な仕上がりとなっていますので、ぜひ一度お試しください。



愛ある愛媛 いいよかん
愛媛県観光物産協会公式オンラインショップ

Rakuten 楽天ショップはこちら

ヤフーショップはこちら YAHOO! JAPAN ショッピング